

テーマ

Tm ネットワーク研修事業（事例検討会・
ミニレクチャ）

申請者名

猪口 寛

助成対象年度（2013 年度前期）

提出年月日

2014 年 1 0 月 吉日

2011年11月多職種連携の研修会 Tm ネットワークを立ち上げたはじめの頃は、介護保険課で事例検討を中心に、ただで話をしてくれる人を探しながら活動していた。メンバーも20名前後だった。勇美記念財団助成金の話聞いて早速申し込み、会場も駐車場が十分確保できるところを借りれるようになり、講師も気兼ねなく呼べるようになった（やはりただは気が引ける）。何よりも大事なのは研修会を通じて共通の理念を持つものが集まり、顔見知りになり、仕事がスムーズに行くようになり、患者を支えることがより患者サイドに立ったものになることである。事例検討はなかなか手上げしてくれるものがいなかったが、途中から講演とグループワークに変えた。講演を聞いた後で、講演のテーマを自分たちの問題として掘り下げ、各グループで論議する。これを通じて今までより、より多くの人たちが顔見知りになることができているようである。現在の問題は時間が足りないことであろうか。みんな仕事が終わって食事もしないできているので、余り長くもできない。しかしグループワークするには時間が短いという状態である。パン程度の軽食は用意しているがみんな遠慮して食べない。ならば終わった後の懇親会でさらに親睦を図ろうと懇親会の費用も半額ほど助成金から出すことを勇美財団よりお許しいただいた。次第に懇親会の参加者も増えてきた。これは必ず在宅医療・在宅療養を受ける方々に還元されると信じている。在宅は連携なしにはなしえないのである。勇美財団の助成を受けるまでは、記録も若干曖昧なところがある。初回はフェイスブックの連携への利用を模索した、フェイスブック入門であったが、普及しなかった。2回目は私が講師としてグループケアについて講義し、事例検討を行った。3回目は記録が残っておらず不明となっている。4回目は医療と福祉の連携と言うことでSWに講演してもらった。第5回第6回は在宅における制がん剤の基礎知識と言うことで2回にわたり久留米大学集学医療センターのセンター長に講演していただいた。この第6回の講演から勇美財団の助成金を使わせてもらった。それまでも参加者がだんだん増え会場に入りきれなくなっていたので、良いタイミングだった。第7回までの間に3回はがくれネットというところと共催で呼吸器リハビリテーションを行った。第7回は認知に関し佐賀県第一人者である肥前療養所の橋本先生に講演いただき好評であった。第8回はがんサバイバーの会青葉の会の松尾俱子さんに講演いただき、患者の心を学ばせてもらった。このときの事例検討会はデスカンファを行った。その後のアンケート集計の結果、事例検討よりグループワークのほうが意見を出しやすいということで第9回より講演とグループワークとなった。この頃から医師の賛同者が増えてきた。第9回は人工呼吸器をつけた先天性ミオパチーの子供さんを孤軍奮闘して育てているお母さんの話で、小児在宅の受け皿がないことを知り、現在その構築を模索している。第10回は「地べたからの介護」で利用者のADLを高めているおせわ宅配便の吉井栄子社長に講演いただいた。みんなに理解してもらえない不安だったが、究極の介護と高い評価の言葉も受けた。第11回では社会心理学の側面から、難病を持つお母さんたちを観察し支えてきた岩崎瑞枝先生に講演をいただき視点を変えたものの考え方を学んだ。実りの多い研修会を勇美財団の助成金を受けるようになってからできるようになったと思う。心から感

謝し次回以降もお願いしたい。

以上「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による」

第5回 「 T mネットワーク研修会 」

H 2 5 . 5 . 2 9

6月29日（土） 19：30～21：00 介護保険課2F

1. 講演 「 在宅医療における制がん剤の知識 」

地方独立行政法人 長崎市立市民病院 峯 孝志 先生

2. 事例検討 猪口 寛 先生

3. 地域医療再生計画提案事業の募集の件 勇美財団

4. 「 在宅医療の風 」

5. 次回研修会日程

※ 終了後の交流会にも是非ご参加ください。

第5回 「 Tmネットワーク研修会 」

6月29日（土） 19：30～21：00 介護保険課2F

（ 出席 ・ 欠席 ） します。

施設名 （ ）

氏名 （ ）（ ）
（ ）（ ）
（ ）（ ）

交流会参加希望

施設名 （ ）

氏名 （ ）（ ）
（ ）（ ）
（ ）（ ）

事前準備のため、6月24日（月）までに

東町わたや薬局（FAX：0942-81-3053）に返信をお願い致します。

第5回Tmネットワーク研修会アンケート（参加者＝35人・アンケート回答者＝33人）

2、本日の講演会の感想

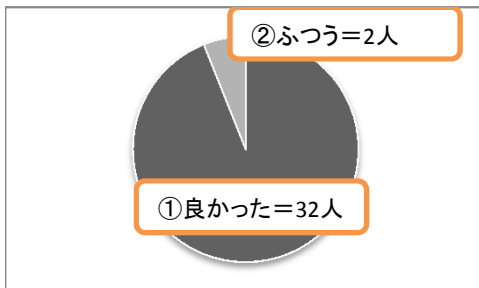
NO	職種	参加者数
1	理学療法士	2
2	訪問看護師	2
3	看護師	15
4	薬剤師	2
5	介護支援専門員	6
6	メディカルソーシャルワーカー	1
7	主任介護支援専門員	1
8	医師	2
9	医薬品卸	2
10	行政事務職	1
11	患者	1
12	看護師(病院勤務)	1

(複数回答有)

①良かった	31
②ふつう	2
③あまり良くなかった	0

①を選んだ理由

・部分的にしかわからなかったけど参考になった。
・現場を離れていますが、新しい情報が役立ちました。
・現在の治療薬、治療方法等に役立てる為にも、理解対応していく。
・抗ガン剤の話おもしろかった。
・普段講習会等では聞けない内容だったから。
・丁寧にわかり易く講演していただいた。
・非常に興味深い内容でした。どの薬が効くかとはあまり興味がないのですが、治験のお話までいけばもっと良かったです。 治験の最前線etc。
・知らないことばかりで驚きでした。理解する事は難しいですが、少しずつ勉強したいです。
・興味のある内容であったこと。
・仕事上抗がん剤を扱うことが多く、今後の営業の参考になりました。
・臨床から少し離れているので、新しい知識を得ることができました。
・説明がわかり易かった。
・抗がん剤について、勉強不足でしたので今後役に立つ講演でした。定期的に講演を聞きたいと思います。
・薬の作用が理解できた。
・難しかったです、普段聞けない話をきけ、勉強になりました。
・抗がん剤治療による副作用への対処法、在宅での考えられる症状などまったくわからない為、もっと聞きたい！できれば資料がほしい。
・難しい話をやさしく話してくださいました。
・わかり易かった、現在のがん治療について勉強になった。
・峯先生の話は、とても新しいことでわかり易かった。
・峯Dr、明るく、わかり易い説明でした。予後不良でも、薬により延命できるということは、ご本人、ご家族にとって希望であり、大切なことだと強く思う。沢山の薬の中からの選択は、先生によっても違いがあったりとあると思います。峯Drは、とても信頼できるDrと思いました。
・私のがんだっただらと思うと延命したい。父の時も延命してほしかった。本日は薬のことが知れて大変よかった。
・専門分野で難しい内容ながらも、自分がわかる範囲で聞くことができた。もっと聞きたいと思いました。
・細かく例をだして、わかり易く、また面白く語られた為。
・難しい内容だったが、わかりやすい説明だった。
・医療のことを知り大変勉強になりました。
・非常に濃い内容だったと思いますが、勉強不足でかなり難しく理解が追いつけなかった印象です。
・難しかったです、大変勉強になりました。

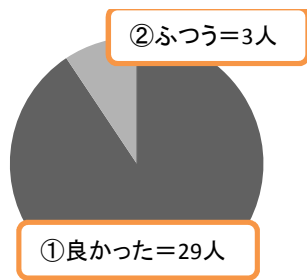


②を選んだ利用

・時間足りなくて残念でした。薬に時間がとぎられたように感じました。

3、本日の症例検討の感想

①良かった	29
②ふつう	3
③あまり良くなかった	0
無回答	1



①を選んだ理由

- ・疼痛コントロールと緩和ケアは違うのだ？
- ・若い人の在宅について知ることができました。
- ・わかり易い説明でした。なかなか薬の勉強を学ぶ機会がないのでよかったです。また聞きたいです。よろしくお願いします。
- ・在宅で今後結びつけていくために、多くの症例を教えてください。
- ・猪口先生の生の声が聞けた。久留米大との連携は薬局としても悩ましいところですが、精神科医などは改善しつつあると思います。
- ・事例の内容が在宅医療の問題提起にもなっていました。
- ・もう少し早く知りたかったことがありました。今後も聞いて知りたいことがありますので、次回も参加したいと思います。
- ・在宅での患者さんの現実を知りたかった。
- ・大学病院等と開業医の連携の現状を知ることができてよかった。
- ・在宅医療のむつかしさを感じる症例でした。
- ・がんの患者様に対しての問題点で、地域連携室の重要性が大切なことが良くわかりました。
- ・病院間での連携の難しさと現状が理解できた。
- ・病院と地域のDrとの連携の部分、もうすこし、問題点や改善策などの検討など、いろんな立場からの意見がほしかったかも。
- ・医療との連携は今も大変ですが、医師間でも苦労してあることを知り少し安心しました。
- ・がんは身近な病気であり、とても怖い病気です。猪口先生の患者様を熱心に思うことが症例からとても伝わりました。
- ・患者さんの退院前のカンファ、在宅医との連携や家庭環境やKPとの関係など細かいことも知りたかった。薬の使い方や本人のことなども詳しく聞ければと思いました。
- ・判り易く勉強になった。
- ・医療間での問題を見ることができた。
- ・大変勉強になりました。

4、今回の研修会全般の改善点

- ・このままで良いと思いますが、コーヒーやお菓子が出れば幸いです。参加費100円をいただいて見てはどうでしょうか。
- ・開始時間をもう少し早くしてほしい。
- ・①グラフの見方 ②治療の目的をどの時点で変えるか、治療と延命、緩和ケアの変更点。
- ・開始時間をもう少し早くできないでしょうか。
- ・会場が少し狭い気がします。

5、今後聞きたい講演や企画があればお書きください

- ・認知症があつてのがん治療はどうなんだろう、最新の事例、情報がありましたらお願いします。

- ・難しい項目は数回に分けておこなっていただけたら良いと思いました。
- ・在宅でがん治療を受ける方への治療の援助方法、今後の在宅に向けての注意すべき項目。
- ・在宅でのがん治療でのリスク、リスクの対応方法、治療の声かけ。
- ・外来で化学療法をおこなっている患者さんを、訪問しているステーションの看護師向けの視点、注意点を話していただきたい。
- ・がんが改善された事例。
- ・血液のがんは移殖した方が延命できますか、費用はどれくらいかかりますか。
- ・緩和ケアにおいて、具体的なオピオイドローテーションの症例。
- ・抗がん剤、麻薬性鎮痛薬の血中濃度モニタリング(TDM)について、必要か否か有効活用例などあれば。
- ・在宅医療の実際について。
- ・現在軌道にのっておられる在宅診療の施設から学びたいと思います。
- ・現場スタッフの目線からの指導をお願いします。
- ・患者のメリットを知りたいです。患者の負担を知りたいです。
- ・また、峯先生のお話を聞けることを楽しみにしています。ぜひ出席します。
- ・がんにならないためには、先生はどのような事に気をつけていますか。
- ・初めて参加させていただき勉強になりました。抗がん剤の話は楽しかったです。わかりやすかったです。
- ・臨床に携わるDrの現場の「生の声」を聞きたいです。
- ・今現在の最新治療薬トピックスなどがあれば教えてください。
- ・薬などの効果(副作用)
- ・年齢別に作用の違いはあるか、など色々な事例を聞きたいです。
- ・各部所のがん治療の一連の流れ、(本当に基本ですが、がんと分かった以降に行う 検査→治療→途中の検査評価→治療方針の変更などの目的な
- ・もう少し症例数を増やしてほしい。症例で聞きたいと思った。
- ・叔父が食道がんのOPE後、1年半で亡くなりました。主治医からは詳しくは説明もなく、亡くなる前に家族に少し長くないとの説明のみ、痛み止めも本人からの要望に対して少し使用したのみ、最後まで苦しみました。もっと痛み止めをつかえば..。
- ・再度峯先生の話を知りたいです。(難しかったです、面白かったです)
- ・セカンドオピニオンは、本当に必要か。例えば、がんが発見され、峯先生みたいなDrがいる病院の選び方。
- ・難しかった症例、今後も聞きたいです。対策はどうすればよかったのか。
- ・各がんでの化学療法の治療効果と限界について。
- ・治療も気になりますが、本人や家族にどのような説明を今はされていますか、在宅に戻られてもまったく理解されていない方が多いと思います。
- ・はじめての参加しましたので、まだ良くわかりません。良いお話をありがとうございました。
- ・施設での看取り。
- ・患者様が望んでいること。
- ・在宅での介護者レベルで留意すべき点や心がけ、心構え、初心者レベル、家族むけレベルのお話が少ししていただければ、レベル低い内容で申しわけありません



参加無料

Tmネットワーク
(鳥栖三養基在宅ネットワーク)
「第6回研修会」のご案内
会長 猪口 寛

日時：平成25年10月19日(土) 19:00～21:00
(講演は19:30～21:00)

会場：鳥栖市民文化会館 3階 ☎0942-85-3650
(鳥栖市立図書館向かい)

演題：「在宅医療における制がん剤の知識パート②」
講師：長崎市立市民病院 臨床腫瘍科 峯 孝志 先生

※今回は看護、介護スタッフ向けのわかりやすい講演をお願いしております。

- 連絡事項
 - Tmネットワークの規約・会費
 - 次回の研修会案内
 - その他
- 症例検討 19:00～19:30
発表：アップルハート訪問看護ステーション吉野ヶ里
- 講演 19:30～21:00
質疑応答

※ 参加申し込み締め切り：平成25年10月16日(水) (資料準備のため)

※ 終了後、交流会を行います。会費1人2,000円位

○ 当研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成金で行っています。

FAXまたはメールでお申し込みください

FAX：0942-81-3316

Eメール：kyufukakari@ktarn.or.jp

氏名：_____

ご参加の有無に○印をお願いします

住所：_____

連絡先：☎ _____

所属：_____

講演会	有・無
交流会	有・無

問い合わせ先：東町わたや薬局 松雪 0942-81-3039

鳥栖広域市町村圏組合 介護保険課 地域支援係鮎川0942-81-3315

第6回Tmネットワーク研修会(平成25. 10. 19)アンケート (参加者=34人・アンケート回答者=25人)

25

NO	職種	参加者数
1	理学療法士	0
2	訪問看護師	4
3	看護師	4
4	薬剤師	4
5	介護支援専門員	7
6	メディカルソーシャルワーカー	2
7	主任介護支援専門員	1
8	医師	1
9	医薬品卸	2
10	行政事務職	2
11	介護福祉士	1
		28

(複数回答有)

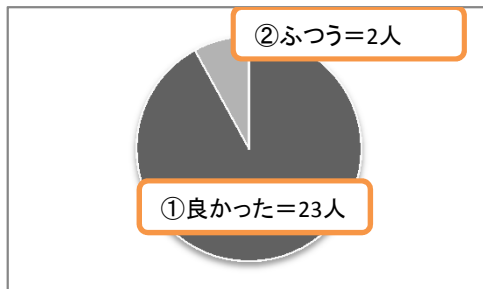
①良かった	23
②ふつう	2
③あまり良くなかった	0

①を選んだ理由

・がんに対して学ぶ機会が少なかったが、とてもわかりやすかった。
・患者さんへの民間療法に対する答え方が具体的でよかった。
・とてもわかりやすかった。噛み砕いてお話し下さったので良かったです。お薬の話が聞け、とても参考になりました。
・難しいお話でしたが、勉強になりました。
・抗ガン剤の副作用について、詳しく学べてよかった。
・具体的副作用と対応策を詳しくきけた。
・経口薬は効果が弱いと思っていました。新しい情報を得る良い機会となりました。
・病院から離れて6年たっていたので、抗癌前療法等の現在の話が聞けて、知識を深めることが出来て良かった
・ハードルは高かったが、やはり今後の活動に役立てていくには、知識としてもっていくことにつなげられる。
・ゆっくりとわかりやすく話されていた。事例があればもっとよかったかも。
・前回の講演よりだいぶわかりやすく、特に薬物療法についてより理解できた。
・在宅ケアの大切さ、終末期における患者様との接し方について考えさせられる事例でした。
・途中よく解らないところがありました。

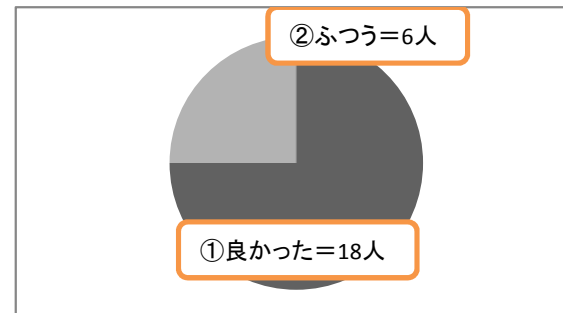
②を選んだ利用

・専門分野に知識がなくわかりにくかった。(自分が理解できなかっただけです)



3、本日の症例検討の感想

①良かった	18
②ふつう	6
③あまり良くなかった	0



①を選んだ理由

- ・理解できない部分は多くありましたが(私自身、医学の事がわからない)このような研修会に参加する事で少しでも勉強が出来たらと思います。
- ・まだ居宅のケアマネとして勤務しだして間もないため、在宅での看取り利用者にあたったことがないため、在宅でも看取りができる実例の話を知ることが出来て勉強になった。
- ・事例発表では、他の事業所の対応の仕方等参考になった(在宅でのターミナルケア一度聞いてみたかったので)
- ・素晴らしい訪問看護をされたとおもいます。ありがとう。
- ・心あたたまる良い事例でした。
- ・患者様の生の声が聞けたような気がした。
- ・資料整理されていて、ゆっくり話しておられた。
- ・薬物療法の目的、根治、再発予防、援助的治療など基本的なことですが大変勉強になりました。
- ・抗ガン剤の副作用について知ることができた。
- ・対象者中心の支援をされたことが伝わった。

②を選んだ理由

- ・もう少し奥の深いところをまとめて、もっとわかりやすく。
- ・具体的にどういう看護をおこなったのか(入浴、シャワー以外)もう少し詳しく聞きたかった。介護プランと報告書など発表された方。あつい思いが伝わりました。ありがとうございました。
- ・関わる期間が短かったにも関わらず、在宅に対する受け入がいいとうまくいくのですね。きっと訪看さんたちの努力なのでしょう。

4、今回の研修会全般の改善点

- ・途中休憩がほしかった。(トイレ休憩)
- ・事例、講演共に興味のお話で、時間も良かった。
- ・看護・介護より医療的な内容が多かったです。(特に後半)
- ・特にありません。
- ・もっと質問ができればなあ。
- ・とてもわかりやすい話で、あつと言う間に時間がきました。
- ・もう少し早い時間を希望。
- ・スクリーンがもう少し大きかったら、見やすかったのではと思いました。
- ・このままで良いと思います。

5、今後聞きたい講演や企画があればお書きください

- ・コミュニケーション能力を向上させるための企画
- ・コーチングについて
- ・質問力、文章力向上のための研修
- ・がん＋認知症のケース(症例)
- ・ターミナルだと小澤竹俊先生(めぐみ在宅クリニック:横浜)の講演が聞きたいです。
- ・認知症についてもっと勉強したい。
- ・困難事例



参加無料

Tmネットワーク
(鳥栖三養基在宅ネットワーク)
「第7回研修会」のご案内
会長 猪口 寛

日 時 : 平成 26 年 1 月 18 日 (土) 19 : 00 ~ 21 : 00
(講演は 19 : 30 ~ 21 : 00)

会 場 : サンメッセ鳥栖 大会議室

演 題 : 「認知症の症状の捉え方とその対応」～中核症状と行動心理症状 (BPSD) についての考察～

講 師 : 東部地区 認知症疾患医療センター
独立行政法人 国立病院機構 肥前精神医療センター
精神科医長
高次脳機能研究室長 橋本 学 先生

連絡事項

①次回の研修会案内 ②その他

1. 症例検討 19 : 00 ~ 19 : 30
発表者 : なかばる紀水苑 古賀 美奈子先生
「認知症の方へのケアマネの支援について」(仮)
2. 講演 19 : 30 ~ 21 : 00
質疑応答

※ 参加申し込み締め切り : 平成 26 年 1 月 10 日 (金)

※ 終了後、交流会を行います。会費 1 人 2,000 円位 (未定)
交流会参加希望者は、○印を記入してください。

○ 当研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成金で行っています。

FAX または メールでお申し込みください

FAX : 0942-81-3316

Eメール : kyufukakari@ktarn.or.jp

NO	氏 名	所 属	職種名	電話 NO	交流会参加
1					
2					
3					
4					
5					

問い合わせ先 : 東町わたや薬局 松雪 ☎0942-81-3039
鳥栖広域市町村圏組合 介護保険課 地域支援係 鮎川 ☎0942-81-3111

第7回Tmネットワーク研修会(平成26. 1. 18)アンケート (参加者=65人・アンケート回答者=45人)

1 職種を教えてください

NO	職種	参加者数
1	相談員	1
2	訪問看護師	2
3	歯科衛生士	1
4	看護師	13
5	薬剤師	2
6	介護支援専門員	15
7	保健師	1
8	主任介護支援専門員	2
9	医師	2
10	医薬品卸	2
11	行政事務職	1
12	介護福祉士	2
13	介護家族	1

44
(複数回答有)

2 本日の講演の感想をお書きください

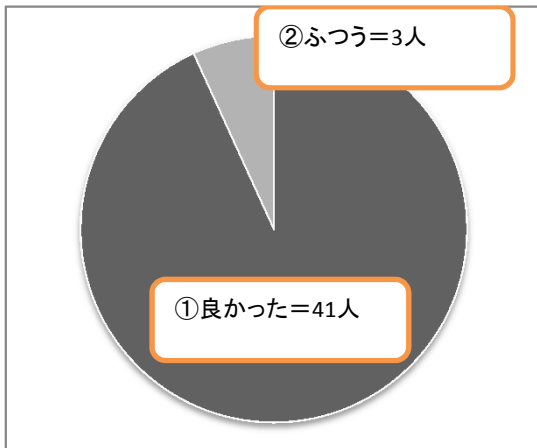
①良かった	41
②ふつう	3
③あまり良くなかった	0

①を選んだ理由

・認知症についてとてもわかりやすく教えていただきました。
・わかりやすかったと思います。
・病名があり、それに対する説明がわかりやすかった。
・症状について詳しく学ぶことが出来た。
・中核症状について、1つ1つわかりやすく説明していただけたから。
・新しい知識も得られ、基本的なことを具体的に振り返るよい機会となりました。
・認知症についての理解が深まった。
・解りやすく新しい情報も聞けてよかった。
・自分にはレベルの高い内容でしたが、細かく詳しい講演で学習になりました。もう少し時間があればよかったですかなと思います。
・橋本先生の話が2度目であったが、より理解しやすい内容で良かった。
・アルツハイマー認知症全般にわたり、詳しく教えていただきありがとうございました。知らない事が多く今後増々勉強しなければと思いました。
・認知症について細かく学ぶことが出来た。BPSD,エピソード記憶など。
・最新情報が聞けた。
・BPSDの方を定期通院することの難しさを感じます。一旦帰宅すると”通院はイヤ”など家族は大きな悩みようです。
・知らない分野を学べた。
・認知症の専門的知識が学べた。詳細の説明でわかりやすかった。
・自分の苦手分野のお話が聞けたこと。
・内容が詳細かつ、わかりやすかった。
・ゆっくりとわかりやすく話されていた。事例があればもっとよかったですかも。
・現場での利用者に当てはめながら理解する事ができました。

②を選んだ理由

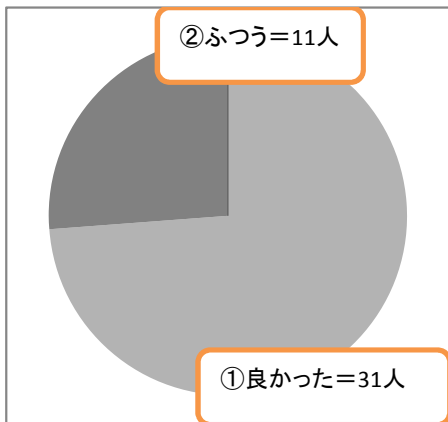
・少し難しかった。
・少し内容が難しすぎた。
・むつかしかった。初めて聞く言葉が多かった。先生自身も「これは難しい」と何度もいわれていたけど、皆さん理解できたかなと思いました。



3、本日の症例検討の感想

①良かった	31
②ふつう	11
③あまり良くなかった	0

①を選んだ理由	
・レアケースですが、その人それぞれの生き方を考えて接したいと思いました。	
・事例があり、くわしく書いてあるため、理解しやすかった。	
・とても勉強になる事例でした。今後の支援に活かしていきたいと思います。	
・認知症の人への対応を考えることが出来た。	
・国際結婚も増えてきているので、今後増えてくる問題だと感じた。	
・橋本先生より最新の情報お聞かせいただき、今後の支援に大切にさせていただきたいと思いました。診断の重要性を学びました。ありがとうございました。	
・事例ではいろいろな意見があり、気づきが多かった。講演会ではとても詳しく認知機能や記憶等について聞くことができた。	
・ケースを拝聴する中で、自分が対応するとしたらと考えながら、関わりの難しさを感じました。多機関との連携した対応を築いていくこと、お一人にどんだけ時間がさけるか、ボランティアの活用など。ケアマネが一人でマネジメントしていく負担を思うと限界を感じます。お疲れ様でした。	
・病名の明確にすることは、難しさを感じました。色々な職種の方が関わることが大切な事だと思いました。	
・言葉の壁や疾患を理由に寄り添うことの難しい事例で、それらを理由にすれば距離を置くことも簡単だったかもしれませんが、今でも何か出来ることはないかと思案しておられる姿勢が素晴らしいと思います。	
・言葉がうまく伝えられないと、支援はとて大変だろうと思います。これからはこういう人も増えるのかと思います。	
・新たな事例で今後の課題も見えました。	
・あまり身近にはありませんでしたが、外国の方もたくさん入って来られているので、このような事例に出会う可能性はあると思いました。	
・言葉の違いでの関わりと難題の事例に取り組まれ発表され勉強になりました。検討する時間の少なさや席の配置等の工夫が必要だったと思われる。	
・ボランティアや学生の協力が重要で、今後の介護支援に役立つものだと考えました。	
・特殊な事例を聞くことが出来、大変興味深い話でためになりました。言葉の壁と言う難しい問題について考えさせられる事例でした。	
・良く準備されていた。また熱意が感じられた。	
・想像以上の事例に気づいた、近所に該当する人がいることに気付いた。	
・言語の違いにより、言葉の壁がある症例検討で貴重な症例でした。ありがとうございました。	
・想像できない症例を聞いたことは重要でした。	
・時間をもう少し長くとして、小グループで検討するなどあれば、意見が多く出たと思われました。多人数だと発言を躊躇します。ですが、とても難しい事例で紀水苑の方の頑張りに素晴らしいと思いました。	
・認知症の患者に対してのコミュニケーションの取り方、疾患に対しての対応などわかりやすかった。また、橋本先生の講演をお聞きしたいと思います。	
・認知症についての研修はよく出ているが、今回わかりやすくてとても良かった。	
②を選んだ理由	
・内服管理と言う視点で訪問看護の利用という選択肢もあったのではないかと思います。	
・特異的な症例だと感じた。	
・症例の説明が長過ぎた。	
・「はじめに」と「まとめ」の関連がいまいちわかりづらく感じた。要点がわかりづらいように感じた。	
・今後、具体的にどのような支援や取り組みをしていったら良いのか等の検討ができなかった。時間が短い。	



事例について
言葉の壁のある中、よく関わりを持たれて少しずつ介護サービスを家族が受け入れるまでになられたなど感じます。1つ感じることは、精神となると県や市町村の保健師さんが医療分野として関わってくださいますが、Drとのやり取りについては現場Nsが(例:訪問Ns)の方が上手くやれる場面があると感じます。活用されるのも1つの方法かと、。Drとのやりとりが一番ハードルが高いと思っています

4、今回の研修会全般の改善点

・特にありません。
・平日の開催があれば良いと思います。
・研修会は大変勉強になりありがたいと思います。開催時間をもう少し早くしてほしいです。(18:00～20:00まで)
・今回初参加でしたがとても有意義な時間でした。
・こういう時間帯は、もう少し身近に学べる研修が内容が良いのでは、そういう事例に医師がアドバイスをしていただくというふうに。
・せっかくの橋本先生の話はもう少し聞きたかったなと思います。休憩をはさんでもう少し長い時間でも良いと思いました。
・土曜の夜は避けていただきたいなあ。
・講義の内容はとても勉強になりましたが、内容が少し難しいところも多かったです。資料内容の字をもう少し大きくしていただくとありがたいです。
・せっかく多職種の方々が参加しているのだから、事例に対してのそれぞれの専門家より見た視点や考えを聞かせてもらえたらと思いました。
・もっと質問が出るように。

5、今後聞きたい講演や企画があればお書きください

・認知症の中核症状とBPSDに対する介護の関わりを知りたい。声掛け、対応など わからないからストレスになる。
・リハビリ体操
・褥瘡研修・ターミナル研修
・在宅での抗がん剤治療について
・認知症のリハビリ等を知りたいです。
・ターミナルケアについて(めぐみ在宅クリニック 小澤竹俊先生)
・虐待の対応について



参加無料

Tmネットワーク
(鳥栖三養基在宅ネットワーク)
「第8回研修会」のご案内
会長 猪口 寛

日時：平成26年3月29日(土) 19:00～21:00
(講演は19:40～20:50 質疑応答:10分)
会場：サンメッセ鳥栖 大会議室

1. 事例報告 19:00～19:30

発表者：医療法人鵬之風 いのくち医院 猪口 寛 先生
演題：「あるALS患者のデスカンファレンス」

2. 演題：「患者会を通して見えたこと」～青葉の会11年目を迎えて～

講師：青葉の会 代表 松尾 俱子 先生
プロフィール

昭和20年：宮城県仙台市で生まれる。
平成8年：スキルス性胃がん末期で手術。余命5カ月の告知を受ける。
平成14年：4月、21名で患者ミニ塾立ち上げる。
平成15年：会員50名、「青葉の会」として新たに出発。
平成23年：NPO法人「がんを学ぶ青葉の会」となる。
平成25年：「がんを学ぶ青葉の会」設立10周年。会員数300名。
平成26年：あと5カ月の命から今年で14年目を迎えます。

連絡事項

- ①次回の研修会案内
- ②その他

※ 参加申し込み締め切り：平成26年3月24日(月)

※ 終了後、交流会を行います。会費1人2,000円位(未定)
交流会参加希望者は、○印を記入してください。

○ 当研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成金で行っています。

FAXまたはメールでお申し込みください

FAX：0942-81-3316

Eメール：kyufukakari@ktarn.or.jp

NO	氏名	所属	職種名	電話NO	交流会参加
1					
2					
3					
4					
5					

問い合わせ先：東町わたや薬局

松雪 ☎0942-81-3039

鳥栖広域市町村圏組合 介護保険課

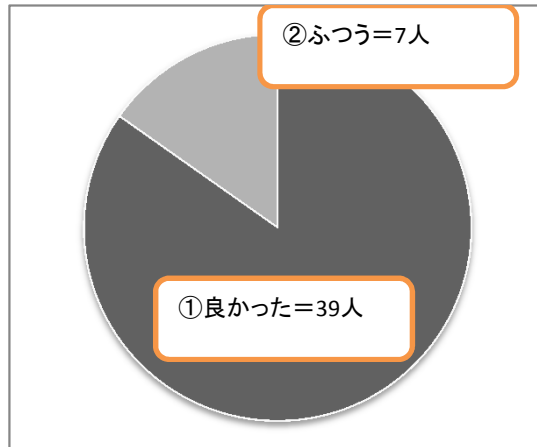
地域支援係 鮎川 ☎0942-81-3111

第8回Tmネットワーク研修会(平成26. 3 29)アンケート (参加者=67人・アンケート回答者=51人)

1 職種を教えてください

NO	職種	参加者数
1	施設長	1
2	社会福祉士	2
3	歯科衛生士	1
4	看護師	13
5	薬剤師	3
6	介護支援専門員	15
7	理学療法士	1
8	事務	2
9	歯科医師	1
10	医薬品卸	2
11	管理栄養士	1
12	介護福祉士	3
13	患者	1

(複数回答有)



2 本日の講演の感想をお書きください

①良かった	39
②ふつう	7
③あまり良くなかった	0

①を選んだ理由

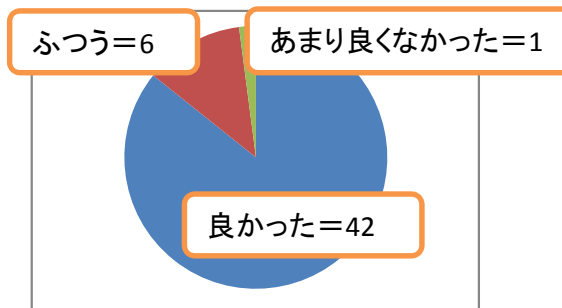
・がん患者さんの生の声を聞くことはめったにないので、とても為になりました。
・がん患者の会立ち上げの流れがわかり感動しました。
・医療から見た感想。家族としての感想がものすごくわかりやすく伝わってくるものがあった。
・直接の言葉に私たちが利用者さんと接する時の参考、心構えになりました。ありがたい講演でした。
・「気持ちで変わる」私も生きていく目標の言葉になりました。
・人として生きるパワーをいただきました。
・体験された方の言葉には、力がありますね。患者会、家族の会につなげていきたいと思えます。ありがとうございました。
・患者さんの思いなど聞くことができたので。
・患者同士で気持ちを共有する会の大切さが伝わった。東日本大震災の姪子さんの話は、生きることの大切さについてとても感動的でした。
・橋本先生の話が2度目であったが、より理解しやすい内容で良かった。
・当事者の意見で良かったと思います。
・体験談を話していただき、患者の思い、先生への聞けない言葉、もどかしい気持ちを知ることができました。ありがとうございました。言葉の大切さ身に染みました。
・患者様の生の声が聞けた事。
・患者の立場、気持ちが聞けた。
・カンファレンスとまた違った会の紹介で飽きずに聞けた。患者家族の話が聞けるともっとよかった。
・松尾先生の訴えるような話が心に残りました。
・自身の経験談であり、信頼できる話の内容であった。
・患者側の本音を聞いてよかった。
・患者さんの気持ち、思い、生きる希望の大切が伝わりました。
・Drの言葉に失望した経験が私にもありましたので、よくわかります。もうその医院にも行きたくないし、いけません。
・がん患者さんの生の声が聞けてよかった。
・家族や患者さんの気持ち、経験を話してくださり、なかなか聞ける話ではないので、とても興味深い話でした。もう少し話を絞ってもらった方がありがたかったかもしれません。
・講師の先生の患者さんたちの代弁との思いを強く感じる講演でとても良かった。患者さんの思いに心を傾ける大切さを痛感しました。
・治療だけでは治せない、生きる力が必要と思いました。

②を選んだ理由

・話が長すぎて集中をたもてない。(自分の問題ですが)。パワフルさに圧倒されました。
・患者さん同士のピアサポートの現状理解ができた。Tm地区にも患者会ってあるのかなと思いました。

3、本日の症例検討の感想

①良かった	42
②ふつう	6
③あまり良くなかった	1



①を選んだ理由

- ・猪口先生をはじめ、メンバーの皆さまのお話が大変ためになりました。
- ・今後もどんな症例であってもチームワーク、連携が必要だと思った。もっと家族、本人への寄り添えるケアマネージャになっていきたい。
- ・デス・カンファレンスに初めて参加させてもらい、在宅での皆さまのいろんな関わりがとても身近に感じられました。
- ・医療スタッフとして、どうあるべきかとか、患者さんの尊厳をいかに守るかを考えることができた。
- ・今まで、ALS患者さんに接したことがなく、ちょうど現在訪看でALSの方がいらっやって、今後の看護に役立ちます。
- ・お一人お一人悩み考えながら仕事させてもらっています。チームの力が在宅では、不可欠です。ネットワーク大事ですね。
- ・各職種の関わり方、考え方、反省点を聞いて勉強になった。
- ・在宅医療の様子を理解する事ができた。
- ・終わったケースではあったが、皆が共通認識を持ち、支え、その人の人生が終わった後に家族からの声が聞けるのがすばらしいと思いました。私たちは人生の最後に関わる仕事で、自分が家族の立場でまた第3者の冷静な判断力を持ちながら対応していきたいと考えました。
- ・症例の説明がとても明確で、デスカンファレンスの必要性もよく理解できる発表でした。ありがとうございました。
- ・ALSという難病の関わり方のむづかしさ、連携の大切さを学ぶことができました。
- ・現場での連携のよさを感じました。
- ・難病ケアの内容が聞けた。
- ・ALS患者、また難病の方々の支援はなかなか難しいと思ってましたので、大変ためになりました。
- ・実例(現場)を知ることができ、よかった。
- ・先生だけでなく、関係していた方々が発言していただいたことで、さらに支援していた時の状況が伝わりました。
- ・デスカンファレンスの意味がわかりました。これをするのが、職種それぞれが新しい一歩、自信につながり、仕事する上で安心して仕事できる。情報とその思いがきけて良かったです。「ナラティブケア」もきけて良かったです。
- ・猪口先生の医師らしくない語り口が良かった。患者目線のネットワークに成長してもらいたい。
- ・実際関わった方の話が聞いてよかった。
- ・ケアマネとしてALS等の重症難病のケア状況が理解できた。
- ・ALSになった方に代わってあげることができないが、在宅に関わる者が理解者の1人になれる。チームとして支える姿勢を示せば患者・家族も病気と向き合える。
- ・実際に関わった事業所の方から話を聞くことができたので、その時の支援の流れ、感情等わかりやすく理解できた。
- ・在宅サポートしていく上で、大変貴重なお話を聞かせて頂きました。
- ・ALSについての症状や進行についてとてもわかりやすかった。実際に担当したことはないが、末期がんのターミナルケアに関わるがあった。連携を取ることは様々な人が関わる中で難しいこと。CMとして調整が大変なこともあるが、往診して下さる先生がとても協力的で、合同カンファレンスを行うために動いてくださった。とても連携は必要な事だが関わった人の気持ちを聞くことはあまりないことなので、とても勉強になりました。
- ・一人の患者さんに、医師を始め多くの職種が関わってチームとして取り組むことが重要であることが実感できました。
- ・患者として皆さんが研鑽に励んでおられることに敬意を表したいと思います。
- ・今までにないケース会議でとてもよかった。ケースの振り返りは、いやなこと多いのですが、次のステップとして必要と思いました。
- ・ターミナルケアのケースでは、何をどうして話したいのか、辛くなります。ナラティブケアが参考になりました。連携の大切を再認識。今

チームワークがうまくできていない担当ケースを思いたし、ケアマネとしてパイプをつながなくてはという気持ちになりました。

②を選んだ理由

・妻や他の家族の思いももっと知りたかった。

③を選んだ理由

・デスカンファレンスを行うには時間が短かく、一方的なカンファレンスのように感じてしまい、もっと意味のあるものになるといいなあと、勝手ではありますが、思っていました。

4、今回の研修会全般の改善点

・訪問看護の利用の仕方。

・重いテーマの時、1時間以上同じ方の話を聞き続けるのはきついです。その方と価値観が合えばいいのでしょうか。

・時間が間延びしている気がします。

・カンファレンスをするにしても、Tmネットワークを設立された目的、医療と介護をつなげる意味でも会場全体で参加できるような内容への変更を検討して頂きたいです。なので、講演の日、カンファの日と時間をしっかりとってほしいです。半々ではなく。

・場所が遠いので参加しにくい。時間をもう少しはやいといいですが。

・来て下さった方の自己紹介も欲しかった。

・松尾先生の話が長かった。部屋がさむかった。

・間に10分程度の休憩があればよかった。

・患者、家族の参加があれば、、、。

・どんな職種の方が参加されているのか、詳細はわかりませんが、今日猪口先生がマイクをふろうとせれていたけど、CM、訪看以外の多職種で参加できる場となれば良いと思います。今回、がんの方、医大のがんコーディネーターの方いろいろ参加いただいており、参加者が広がっていると思いました。

5、今後聞きたい講演や企画があればお書きください

・在宅医療の歩み・今後の課題、最新の医療、治療、検査についても知りたい。

・家族のはなし。

・患者本人、家族からの意見を聞きたい。



Tmネットワーク
(鳥栖三養基在宅ネットワーク)
「第9回研修会」のご案内
会長 猪口 寛

日 時 : 平成 26 年 5 月 28 日 (水) 19:00 ~ 21:00

会 場 : サンメッセ鳥栖 大会議室 (3階)

1. 演 題 : 「地域で普通に暮らすこと」 (19:00~20:00)
講 師 : 田中 千尋氏

プロフィール

在宅人工呼吸器利用患者の家族

2. 休 憩 : 20:00~20:10

3. グループディスカッション (20:10~20:50)
テーマ: 「障害者支援で足りないもの、欲しいもの」
進行係: 赤司氏、秋山氏

連絡事項

- ①次回の研修会案内
- ②その他

※ 参加申し込み締め切り: 平成 26 年 5 月 26 日 (月)

※ 終了後、交流会を行います。会費 1 人 2,000 円位 (未定)
交流会参加希望者は、○印を記入してください。

○ 当研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成金で行っています。

FAX または メールでお申し込みください

FAX : 0942-81-3316

Eメール : kyufukakari@ktarn.or.jp

NO	氏 名	所 属	職 種 名	電 話 NO	交 流 会 参 加
1					
2					
3					
4					
5					

問い合わせ先 : 東町わたや薬局 松雪 ☎0942-81-3039
鳥栖広域市町村圏組合 介護保険課 地域支援係 鮎川 ☎0942-81-3111

第9回Tmネットワーク研修会(平成26. 5. 28)アンケート (参加者=50人・アンケート回答者=33人)

参加者

NO	職種	参加者数
1	作業療法士	1
2	訪問看護師	2
3	看護師	4
4	薬剤師	1
5	介護支援専門員	6
6	主任介護支援専門員	3
7	歯科衛生士	1
8	医師	2
9	医薬品卸	1
10	保健師	3
11	介護福祉士	2
12	社会福祉士	1
13	訪問介護	2
14	その他	3
15	理学療法士	1

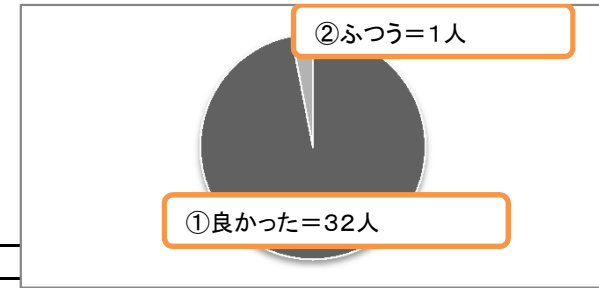
33

講演会の感想

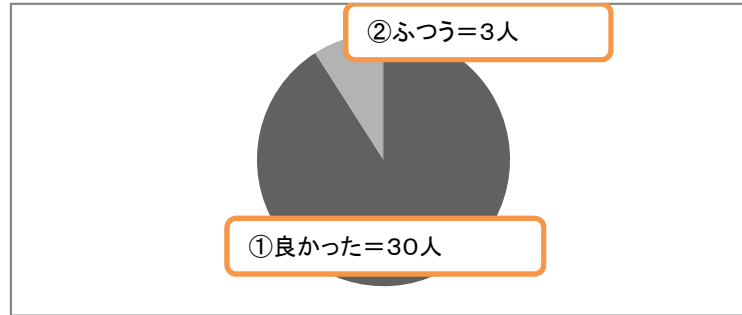
①良かった	32
②ふつう	1
③あまり良くなかった	0

①を選んだ理由

- ・講演会はとても感動しました。
- ・現場の声が聞けた。
- ・勉強になった。
- ・ドキュメンタリーや本などで知識はあったが、生の話が聞けてよかった。
- ・田中 千尋先生の話は大変興味深い内容で、心に響きました。
- ・母親田中さんの生き方に感動しました。大貴くんがのびのびと育っているのが嬉しい！
- ・家族の声を聞くことができたので。
- ・在宅の家族の生の声が聴けてよかった。
- ・在宅生活の生の声が聞けてよかった。
- ・生の声を聴いてとても感動しました。
- ・もっと勉強するべきだったと思った。
- ・障害者が地域(家庭)で暮らせる体制がほとんど足りず、個人の力で解決していかないといけないことを今日知った。
- ・実際の話聞いて良かったです。
- ・ふつうに生きることを改めて感じた。
- ・小児在宅の現状を知ることができた。
- ・普段聞くことのない貴重な話を聞いて良かった。医療ケアの必要な障害者の方は施設というイメージがあったので、実際の在宅の生活について知ることができてよかった。
- ・やればできると力をもらいました。



①良かった	30
②ふつう	3
③あまり良くなかった	0



①を選んだ理由
・グループワークが良かったです。初めてお会いした方と話せて、いろんな情報が聞けました。
・他職種の意見がきけて勉強になった。
・どうしたら一緒に生きていけるか勇気を頂きました。現場でまた頑張ろうと思いました。
・障害者支援について考えさせられました。
・障害の分野がわからなかったのが良かった。
・現場に関わることの少ない職種ですが、さまざまな職種の方の話を聞くことが出来、大変勉強になりました。
・いろんな職種の方と交流できてよかったです。
・いつもは、話せない方たちと意見交換ができた。
・今後は老人だけでなく、若い人(障害支援)ができるようなマネジメントできるようになりたいです。
・障害者支援について学ぶ事が多いことに気づかされました。
・生の声であったから。
・ここまで1時間かかりましたが、良かったです。
・それぞれの職種から専門的な意見がきけてよかった。
・いろんな職種の方と話せました。
・初めての方と出会うことができた。

4、本日の症例検討の結果

① 現在の障がい者支援で足りないもの、または欲しいもの ②今 私たちがお手伝いできることは？。

1グループ	① 移動手段・・・公的交通機関は充実しつつあるが、まだまだスムーズではない。例えばデパート内の移動や身体障害者用のトイレなど。働く場所、法制度、意識とかモラル ② 質の向上と認知度の向上、情報の発信、認知症サポーター養成のようなシステムの構築
2グループ	① 親(保護者)のサポート、理解者、偏見をなくす、老人などでは、ケアマネジャーなる方たちがいるが、障害者支援のコーディネーターが必要、制度がととのっていない。
3グループ	①学校の先生の理解、決めつけ、受け入れ環境、知識、障壁もたない、まずはやってみようと思える、その子に合った環境、選ぶ権利 普通学校の相乗効果・特別支援学校の先生の知識のなさ・親の負担軽減、サポートしてくれる人、お金・建物(ハード面) 授業のスピード(ipad等上手に活用できるような)
4グループ	①社会制度、道路等インフラ整備、教育 ② 施設等でボランティアする(短時間、自分の空いた時間で) まず興味を持つ(無関心が一番よくないから)
5グループ	① 相談窓口・自由な事業書の選択・情報(制度的)・学校の訪問看護師派遣

6グループ	① 通所リハビリや通所介護で”受け入れ”を行う施設、大人になった人たちの受け入れる医療・在宅医、わかりやすい情報が欲しい
-------	--

② まずは勉強して、何が必要か知ることだと思う。	
7グループ	① 旅行をする時のサービスがない、小学生たちにも話を聞く機会があれば、母親が障害のある息子とトイレやお風呂に入れたい、障害者が行く場所がない、方法がない、障害者と関わる機会がほしい(関わり方がわからない、どうしていいかわからない、日常の接点が必要)情報がほしい、母親、兄弟への支援(親の目がとどきにくい)、障害児を持つことを受け入れられなかった。保健師の情報(施設)に助けられた。必要な人に正しい情報を伝えてほしい。ネットワーク
8グループ	①在宅医(専門医)知識・情報(かかわりの場特別出はない) 2つの考え方 ダウン症 社会に入っていた。 他職種のコミュニケーション・情報・見守り 税金を払うなど伝えていくこと 障害者でも税金を払う人ととらえ、発達障害の程度、一緒に生活していくうえで何が援助できるかえわかってくる。ダウンの人は単純作業に秀でている

4、今回の研修会全般の改善点

・だいきさんの話をききたかった。
・とても勉強になりました。
・ありません。
・初めて参加しました。特にありません。
・どうしたら広げていけるのか？参加した人の口コミ？
・30分くらいスタート時間が早ければ・・・とも思いました。
・初めてでした。ありがとうございました。

5、今後聞きたい講演や企画があればお書きください

・リハスタッフへの要望。
・基礎資格が福祉のため、疾病についてわかりやすく勉強したい。



Tmネットワーク
(鳥栖三養基在宅ネットワーク)
「第10回研修会」のご案内
会長 猪口 寛

日 時 : 平成26年7月30日(水) 19:00 ~ 21:00

会 場 : サンメッセ鳥栖 大会議室(3階)

1. 演 題 : 「利用者さんのADLを高めるための工夫」(仮)(19:00~20:00)
~人の持つ本来の力を引き出す~
講 師 : 吉井 栄子先生
プロフィール

社会福祉法人みんなお世話 理事長兼社長、在宅ネットさが会員、佐賀県尊厳死協会理事
ユニークな発想・介護でクライアントのADLを高めることを実践しておられます。
ヘルパー資格ですが、本能的にクライアントに何かベストか常に考え実践し、そして実績
を出しておられる方です。

2. 休 憩 : 20:00~20:10

3. グループディスカッション (20:10~20:50)
テーマ: 「人の持つ本来の力を引き出す」
進行係: 赤司・秋山

連絡事項

- ①次回の研修会案内
②その他

※ 参加申し込み締め切り: 平成26年7月28日(月)

※ 終了後、交流会を行います。会費1人2,000円位(未定)
交流会参加希望者は、○印を記入してください。

○ 当研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成金で行っています。

FAXまたはメールでお申し込みください

FAX : 0942-81-3316

Eメール : kyufukakari@ktarn.or.jp

NO	氏 名	所 属	職 種 名	電 話 NO	交 流 会 参 加
1					
2					
3					
4					
5					

問い合わせ先 : 東町わたや薬局 松雪 ☎0942-81-3039
鳥栖広域市町村圏組合 介護保険課 地域支援係 鮎川 ☎0942-81-3111

第10回Tmネットワーク研修会(平成26. 7. 30)アンケート (参加者=54人・アンケート回答者=25人)

参加者

NO	職種	参加者数
1	作業療法士	0
2	訪問看護師	2
3	看護師	3
4	薬剤師	0
5	介護支援専門員	9
6	主任介護支援専門員	1
7	歯科衛生士	0
8	医師	0
9	医薬品卸	0
10	保健師	1
11	介護福祉士	0
12	社会福祉士	0
13	訪問介護	2
14	管理栄養士	1
15	理学療法士	1
16	その他	5

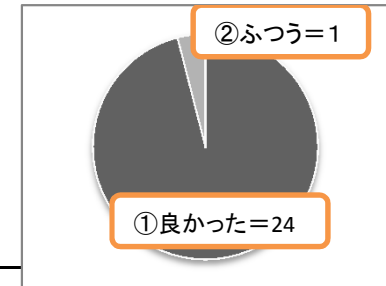
25

講演会の感想

①良かった	24
②ふつう	1
③あまり良くなかった	0

①を選んだ理由

自立支援への取り組みを積極的にされていて、とても勉強になりました。
利用者様の自立支援を引き出しているのが感じられた。(逆発想が多くなっているのです。)
現場で実際に実施する時の障害がたくさんあると感じる。
わかりやすく見聞が広がった。
様々な取り組みの根本には、利用者のことを第一に想うスタッフの気持ちがあり、それが実現されとても理想的だと思いました。
よつんばいからのケアがあるということを知りました。ケアの在り方についてびっくりすることも多かった。
内容がとても身近で、自分に引き寄せて聞くことができました。
とても参考になりました。パワーをもらいました。
理想の活動をされている。
新しい介護観を知り、今後に生かしたい。



3、本日の症例検討の感想

①良かった	19
②ふつう	0
③あまり良くなかった	0



①を選んだ理由

自立支援に力を入れていて、とても勉強になりました。
吉井先生の話聞いてよかった。
講演の施設スタッフから話が聞いてよかった。
和気あいあいと情報交換ができた。
幼老共生の効果が大きいこと。維持・改善するという事。心が目覚めるというのに感動しました。
実際の積み重ねの結果と思うがすばらしかった。

4、今回の研修会全般の改善点をお書きください。

とても参加型はよかったです。一緒にされている現状が素晴らしいと思いました。

5、今後聞きたい講演や企画があればお書きください。

在宅医療支援

在宅ケアについて(障害・高齢者)

困難事例検討などできれば



Tmネットワーク
(鳥栖三養基在宅ネットワーク)
「第11回研修会」のご案内
代表幹事 猪口 寛

日時：平成26年 9月24日(水) 19:00～21:00

会場：サンメッセ鳥栖 大会議室(3階)

1. 演題：「難病児のお母さんたちから学んだこと」(19:00～20:00)
講師：岩崎 瑞枝 先生

プロフィール

大分大学医学部・久留米大学部非常勤講師、ファイナルステージを考える会代表、ひまわりの会運営スタッフ

著書：「命のことだま」、「余命6ヵ月から読む本(ファイナルステージを考える会編)」、「天使のあしあと 難病でわが子を亡くしたお母さんたちの手記(ひまわり会編)」、「うれしかった言葉悲しかった言葉難病の子と生きるお母さんたちの声(麦の会声だより編集員)」など

2. 10分間休憩

3. グループディスカッション (20:10～20:50)

「お母さんたちが望むサポーターとは」

進行係：赤司 利恵、秋山 紀子

連絡事項

①次回の研修会案内

②その他

※ 参加申し込み締め切り：平成26年9月22日(月)

※ 終了後、交流会を行います。会費1人2,000円位(未定)

交流会参加希望者は、○印を記入してください。

○ 当研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成金で行っています。

○ Tmネットワーク年会員 個人会員1000円 団体会員3000円

その他の方 資料代として500円募金頂ければ幸いです。

FAXまたはメールでお申し込みください

FAX：0942-81-3316 Eメール：kyufukakari@ktarn.or.jp

NO	氏名	所属	職種名	電話NO	交流会参加
1					
2					
3					
4					
5					

問い合わせ先：東町わたや薬局 松雪 ☎0942-81-3039

鳥栖広域市町村圏組合 介護保険課 地域支援係 鮎川 ☎0942-81-3111

第11回Tmネットワーク研修会(平成26. 9. 24)アンケート (参加者=34・アンケート回答者=19人)

参加者

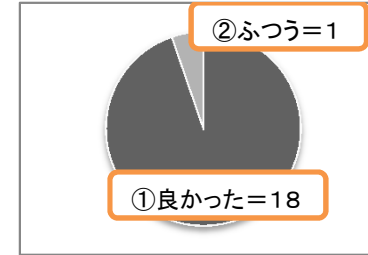
NO	職種	参加者数
1	相談支援専門員	1
2	訪問看護師	1
3	看護師	1
4	薬剤師	1
5	介護支援専門員	3
6	主任介護支援専門員	1
7	歯科衛生士	0
8	医師	1
9	医薬品卸	1
10	保健師	1
11	介護福祉士	3
12	社会福祉士	1
13	訪問介護	1
14	管理栄養士	1
15	計画作成者	1
16	その他	1

19

講演会の感想

①良かった	18
②ふつう	1
③あまり良くなかった	0

19



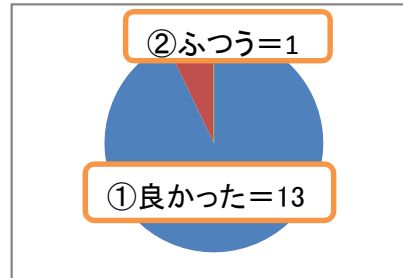
①を選んだ理由

様々な専門職の方々のお話が聞けたこと。訪問病児保育について、初めてしりました。
岩崎先生の思い等が伝わる講演会でした。
専門外のことでしたが、勉強になりました。
最近子どもさんに関する依頼が多くなってきていたので。
なかなか聴くことのできない、母親の本音を知ることができてよかった。
入院中と在宅でのお母さんの心境の変化、言葉の大切さ、改めて色々なことに気が付ききっかけになりました。ありがとうございました。
最終的には、人間のコミュニケーションが大事と感じれた。
難病の方の訪問を行っている時、声掛けや方法を知ることが出来ました。
高齢者関係の研修に参加することが多かった為、今日のような内容は、とても興味深く、自分のためになりました。
難病小児と保護者のアイデンティティの在り方について深く考えさせられました。
岩崎先生のような方がおられることを知ることができて良かったです。ボランティア、興味ができました。ありがとうございました。

3、本日の症例検討の感想

①良かった	13
②ふつう	1
③あまり良くなかった	0
④記載なし	5

19



①を選んだ理由

ターミナルの小児の方との関わりがなかったので良かったです。
社会資源を多く知ることが必要⇒訪問保育また復活してほしいですね。
各職種の方々の日々の悩み等を聞くことが出来、大変勉強になりました。
今回初めての参加でしたが、皆さんとても熱心に議論されて感動しました。
知らない世界のお話でしたが、勉強になりました。
言葉はとても大切と改めて感じました。
他職種の意見、考え方など知ることができました。
社会資源の活用することの大切さを感じた。

4、今回の研修会全般の改善点をお書きください。

18:30から20:30位にしては？

もう少し多くの方に参加して頂きたいです。

5、今後聞きたい講演や企画があればお書きください。

心理療法士の先生の話聞きたい。

今、ボランティアの研修を受けているので、視覚障害がある方についての講演などあればと思います。

障害者支援施設や働く場所を立ち上げた方のお話を聞きたいです。

認知症について。